

## 第8章 事業計画

### 第1節 整備計画

史跡米子城跡に係る整備は、史跡の価値を確実に保存し継承していくことを基本とし、その上に立って史跡の活用を図っていくことが重要である。このような重要かつ大規模な史跡整備は、技術的にも財政的にも短期間で完結できるものではなく、今後の調査研究の進展状況や史跡追加指定の進捗状況及びそれに伴う整備内容の修正や追加等に柔軟に対応していく必要があり、整備の理念と方針のもと長期的に取組む事業となる。

実施時期について、短期に着手すべき施策については整備事業開始後概ね5年以内、中期的に取組む施策については6～10年、長期的な展望の下に実施を検討すべき施策については11年～15年を想定している。さらに、歴史的建造物の復元については、調査研究の進捗や設置する場所の保存状況や修復状況によっては、長期間の事業期間が必要となることも想定される。石垣の修復等についても、状況によっては当初の計画と大きく異なることが生じることを念頭に入れておくことが必要である。そのほか、調査研究等を進めていく中で新たな検討課題が生じてくることも考えられるため、必要に応じ、柔軟に継続的に取組んでいく場合があることも想定しておく必要がある。

また、今後、事業の必要性や緊急性等について隨時検証し、社会情勢や財政状況等も考慮しながら整備を推進していくこととなる。

箇所ごとの整備の実施にあたっては、本計画において定めた整備内容について、必要に応じて基本設計やこれに基づく実施設計への段階を経て、発掘調査や史資料調査等の調査研究の成果を踏まえながら、遺構の保全や景観との整合を図りつつ、保存整備及び活用整備について、より具体的に、かつ精度の高い詳細な整備内容としてまとめていくこととなる。

特に歴史的建造物の復元整備にあたっては、現段階で十分な情報が得られておらず、今後実施する史資料調査や発掘調査等による調査研究の成果や工法等の研究、財源確保の課題等を整理した上で、総合的視点から判断することになる。

なお、危険木の伐採については、緊急性が高いため、史跡米子城跡保存活用計画（平成29年3月策定）で示した方向性に基づき平成29年度から取組んでいる。

#### 1 短期整備計画

短期整備計画を平成31（2019）年度～平成35（2023）年度の5箇年の期間として設定する。

短期整備計画では、現在の国史跡指定地を中心に整備を実施する。さらに、史跡の追加指定（湊山球場敷地（三の丸）、出山、深浦郭）に取組む。

##### （1）調査研究

- ・米子城跡の実態解明と今後の整備事業の進捗を図るための遺構確認調査（発掘調査）や史資料調査等の調査研究を進める。
- ・将来的な歴史的建造物の復元整備に向けた可能性を探る史資料調査や遺構確認調査（発掘調査）等の調査研究を行う。
- ・本丸の発掘調査を実施し、全体像の解明に努める。
- ・水手御門下郭及び八幡台郭の詳細な遺構確認調査（発掘調査）を行い、保存整備に向けた

資料収集を行う。

- ・二の丸高石垣の石垣上部の発掘調査を行い、土壙や裏込めの状況を把握するとともに、石垣下部の発掘調査を行い、石垣規模の確定及び根石の状況確認を行う。
- ・枡形の石垣上部の発掘調査を行い、裏込め等の状況を把握し、修復、積み直し等に係る資料を得る。
- ・文書や絵図等から石垣修理履歴を調査し、石垣の歴史的位置付けを行う。

## (2) 保存整備

- ・米子城跡の本質的価値の最重要的ものである石垣については、史跡指定地全体を対象として、石垣カルテ作成、三次元測量及び石垣変位調査等の総合的な石垣調査を実施する。基礎データの収集、解析を行い、危険度と緊急度の高い箇所について優先順位を把握し、修復、積み直し等の保護計画を策定する。なお、検討にあたっては、「歴史の証拠」としての石垣の持つ本質的価値は、積み直すことにより失われてしまうことになるため、米子城オリジナルの石垣を損なう部分を最小限とすることに留意する必要がある。
- ・現況で孕み出しが視認される枡形については、石垣修復の実施設計を行う。
- ・石垣等の遺構の保存や来訪者及び近隣施設等に悪影響を与えていた樹木は、伐採や剪定等適切な管理を行う。
- ・登り石垣及び堅堀の修復整備に向けた保存方法の検討を行う。
- ・登り石垣や水手御門下郭、八幡台郭については、覆土等による保存を行う。
- ・地盤調査等により、地盤の強度や崩落危険箇所等を把握し、対策の必要な箇所については保護計画を策定し、優先順位を勘案し整備に着手する。
- ・湊山球場敷地（三の丸）、出山、深浦郭について、史跡の追加指定に取組む。
- ・市指定文化財小原家長屋門については、屋根の応急処置を引き続き行う。

## (3) 活用整備

- ・登城路等園路の補修、安全性の確保等再整備を行う。
- ・サイン類、ベンチ等の整備を実施する。
- ・天守周辺での電源確保を行う。
- ・遺構の可視性の復元と維持等、適切な樹木管理を実施し、石垣等の遺構が市街地等から視認できるようにするとともに、米子城跡各所からの眺望の確保を行う。

## (4) 公開・活用計画

- ・調査研究の成果については、刊行物等による公開を行い、シンポジウムやフォーラム、講演会、ガイドウォーク等を適宜開催し、情報発信する。
- ・パンフレットやガイドブック等を隨時作成し、配布する。また、インバウンドを意識したパンフレット等を作成し、配布する。
- ・発掘調査現場の現地説明会を適宜開催する。現場の公開については可能な限り対応し、来訪者の関心を高める。
- ・バス停留所の名称に「米子城跡」を加え、車内案内放送に「米子城跡」を盛り込む等公共交通機関の協力を得て米子城跡の周知を推進する。
- ・ライトアップの通年実施を検討する。

## (5) その他

- ・整備事業の実施にあたっては、「史跡米子城跡整備検討委員会」の中に城郭研究者及び考古学研究者を中心とした専門部会等を設置し、指導助言を得ながら行うこととする。
- ・整備事業実施の基礎となる調査研究や資料収集、公開活用を継続的に実施するため、人員の確保及び体制を整える。
- ・整備計画は、調査研究の成果で大きく変わる可能性があり、短期事業計画期間中に適宜、整備基本計画の見直し及び事業の修正を行う。
- ・史跡追加指定の進捗状況を勘案し、適宜、事業計画の見直しを行う。

## 2 中期整備計画

中期整備計画を平成 36 (2024) 年度～平成 40 (2028) 年度の 5 箇年の期間として設定する。

中期整備計画では、現在の史跡指定地の整備に加え、史跡の追加指定（湊山球場敷地、出山、深浦郭）が実施された場合は当該地の整備も行うこと目標とする。

### (1) 調査研究

- ・調査研究に継続して取組む。
- ・将来的な歴史的建造物の復元整備に向けた可能性を探るため、史資料調査や発掘調査等の調査研究を引き続き行う。

### (2) 保存整備

- ・石垣については、継続して石垣変位調査等を行い、基礎データの収集や解析を行うとともに、危険度と緊急度の高い箇所について修復、積み直し等の整備を行う。
- ・石垣等遺構に悪影響を与えていた樹木の伐採等適切な管理を行う。
- ・登り石垣及び堅堀の整備を行い、一般公開を行う。
- ・水手御門下郭や八幡台郭については、遺構修復工事を行う。
- ・孕み出しの進んでいる枡形や二の丸、内膳丸の石垣の修復や積み直し等を行う。
- ・本丸周辺の石垣修復の実施設計を行い、修復に着手する。
- ・二の丸御殿や表中御門、裏中御門の発掘調査を実施したうえで、整備方法を検討し、整備工事に着手する。
- ・崩落危険箇所について危険度の高い箇所から崩落防止工事を行う。
- ・市指定文化財小原家長屋門については、整備方針を決定し、整備工事を行う。

### (3) 活用整備

- ・眺望を阻害している樹木の伐採等適切な管理を引き続き行う。
- ・史跡の追加指定に伴い、三の丸の整備（野球スタンド撤去、トイレ、サイン類等便益施設設置、内堀の表出、米蔵等の遺構表示）を行う。
- ・史跡の追加指定に伴い、深浦郭の整備（トイレ、サイン類等便益施設の設置、御番所、御船小屋等の遺構表示）を行う。
- ・史跡の追加指定に伴い、出山へのサイン類の設置、危険木の伐採等を行う。
- ・短期事業計画に基づき実施した調査研究の成果により、城跡内に存在した土塙及び門等歴史的建造物の遺構の位置や構造、素材料等が明らかになった場合には、重要度及び効果を

再検討した上で事業計画を見直し、復元整備を検討する。

- ・ガイダンス施設の設置場所や整備内容、整備方法を決定し、施設整備を行う。
- ・二の丸テニスコート横の老朽化したトイレについては、改修を行う。

#### (4) 公開・活用計画

- ・調査研究の成果については、可能な限り刊行物等による公開を行うとともに、シンポジウムやフォーラム、講演会、ガイドウォーク等を適宜開催し、情報発信する。
- ・パンフレットやガイドブック等については、できるだけ速やかに最新情報を盛り込む等、常に改訂を検討しながら、継続的に作成、配布する。
- ・発掘調査現場の現地説明会を適宜開催する。現場の公開については可能な限り対応し、来訪者の関心を高める。

#### (5) その他

- ・整備事業の実施にあたっては、現行の「史跡米子城跡整備検討委員会」の指導助言を得ながら事業遂行を図る。
- ・整備計画は、調査研究の成果で大きく変わる可能性があり、中期事業計画期間中に適宜、整備基本計画の見直し及び事業の修正を行う。

### 3 長期整備計画

長期整備計画を平成41年度(2029)～平成45年度(2033)の5箇年の期間として設定する。

短期、中期整備計画期間内では対応の難しい整備を行い、米子城跡の価値を高めていく。

#### (1) 調査研究

- ・調査研究に継続して取組む。
- ・歴史的建造物の復元整備に向けた可能性を探るため、史資料調査や発掘調査等の調査研究を引き続き行う。

#### (2) 保存整備

- ・石垣については、継続して石垣変位調査等を行い、基礎データの収集や解析を行うとともに、危険度と緊急度の高い箇所について修復、積み直しを行う。
- ・石垣等遺構に悪影響を与えている樹木の伐採等適正な管理を行う。
- ・崩落危険箇所の整備を引き続き実施する。
- ・史跡の追加指定に伴う三の丸や深浦郭、出山の整備工事を行う。
- ・飯山（采女丸）について、史跡の追加指定の検討を行うのとあわせて石垣調査等を行う。

#### (3) 活用整備

- ・歴史的建造物の復元整備については、資料の整ったものについて重要性を勘案し、検討を進める。
- ・天守や内膳丸の東屋の改修を行う。

#### (4) 公開・活用計画

- ・調査研究の成果については、可能な限り刊行物等による公開を行うとともに、シンポジウムやフォーラム、講演会、ガイドウォーク等を適宜開催し、情報発信する。
- ・パンフレットやガイドブック等については、最新情報の盛り込みと、常に改訂の検討を行

い、継続して作成し、配布する。

#### 4 事業費の想定

整備事業計画は、現時点における、15年程度の期間において史跡米子城跡の保存及び利活用に資するための基本的な調査、整備の進め方を年度ごとの計画としてまとめたものである。これを一覧にしたものが次項の「史跡米子城跡整備事業スケジュール」である。

事業費については、15年間の全体事業費が12億5千万円程度（うち市費負担分が5億円程度）、このうち短期的整備に係るものが5億5千万円程度（うち市費負担分が2億円程度）、中・長期の整備に係るものが7億円程度（うち市費負担分が3億円程度）と想定される。

当初5年間の短期的整備事業費は、園路の整備やサイン類の整備等の史跡公園としての基本的な整備に係るもののか、危険木、支障木等の樹木の伐採に係る経費2億円程度（うち市費負担分が7千万円程度）、石垣や地盤等の調査に係る経費8千万円程度（うち市費負担分が5千万円程度）等を含むものである。

樹木の伐採については、並行して進めていく発掘調査や地盤調査の成果等に伴って伐採範囲や伐採量に影響が及ぶ可能性があるため、事業費の変動が生じることも想定しなければならない。

また、国史跡に追加指定された場合、民有地の公有化に係る経費（土地取得及び物件補償等に係る経費）が発生することも想定されるが、これらの額については、取得する時点において、不動産鑑定等に基づき算定した額を事業費として計上することとなる。

中・長期の整備に係る事業費については、短期的整備の進捗状況を踏まえての基本的な整備工事のほか、地盤調査、石垣調査の成果等に伴って、現時点での想定額には含まれていない、地盤の弱い箇所の崩落防止対策や修復等を含む石垣整備等の追加工事に係る事業費がさらに加わることも想定される。

上述したように、個々の整備案件については、整備事業全体が進展していくにしたがって様々な検討課題が生じてくることも考慮する必要があることから、整備事業の進捗状況や地盤調査、石垣調査、発掘調査等の成果を踏まえ、年度ごとに、事業規模、内容、事業費等を精査し、検討していくかなければならないものである。

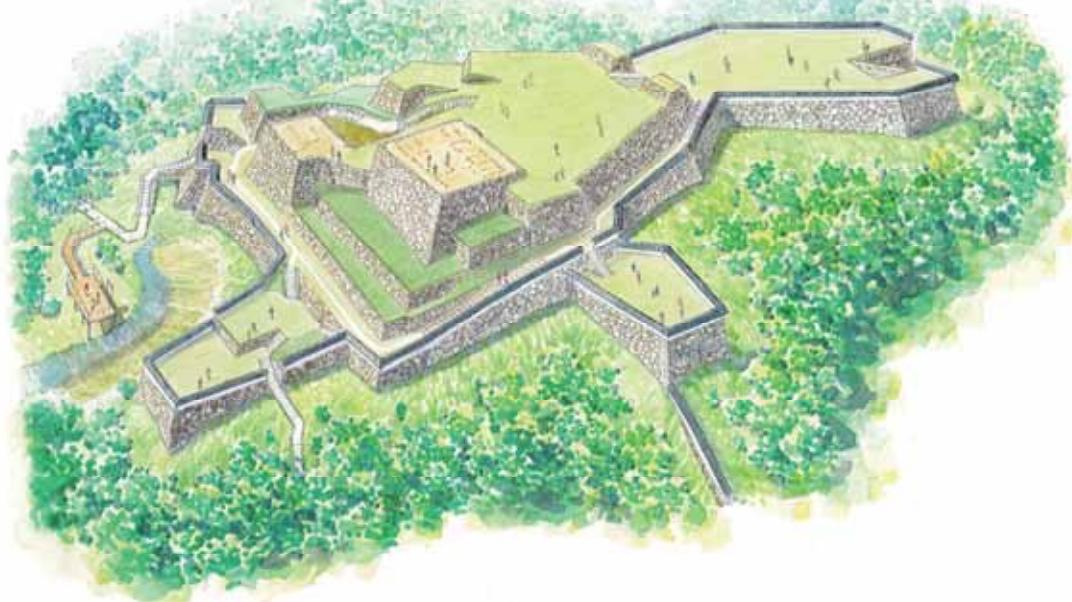
## 史跡米子城跡 整備事業スケジュール

地区		短期					中期					長期					備考	
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次	10年次	11年次	12年次	13年次	14年次	15年次		
史跡指定地内	全体	- 石垣変位調査	- 三次元測量 - 石垣カルテ作成		- 調査結果解析	- 整形実施設計	- 整形修復	- 整形修復	- 内堀丸実施設計	- 内堀丸修復							・飯山調査→	
		- 地盤調査	- 保護計画策定	- 整備工事		- 二の丸実施設計	- 二の丸修復		- 本丸実施設計	- 本丸修復							・飯山調査→	
		- サイン箇	- 実施設計	- 設置工事													→	
		- 囲路	- 実施設計	- 整備工事													→	
		- 木管理	- 危険木伐採 (木丸、お大 庭前)	- 危険木伐採 (木丸、二の丸)	- 危険木伐採 (内堀丸)	- 樹木剪定、伐採											→	
	内郭①ゾーン	- 本丸	- 免振調査 - 史料調査	- サイン設置	- サイン設置	- 報告書作成	- 免振調査	- 本丸石垣修復 実施設計	- 石垣修復	- 報告書作成 - 免振調査	- 土壁復元検討	- 土壁復元実施設計	- 土壁復元設置	- 土壁復元検討	- 四重櫓復元検討			
		- 水門御門下部	- 免振調査	- 史料調査 - 保護工事 - 樹木剪定伐採	- 連棧保育工事 (底土)	- 連棧保育工事 - サイン設置 - ベンチ設置	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計								
		- 八幡合跡	- 免振調査 - 史料調査 - 保護工事	- 連棧保育工事 (底土)	- 連棧保育工事 - サイン設置 - ベンチ設置	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計												
		- 山腹	- 免振調査	- 連棧保育工事 - サイン設置	- 連棧保育工事 - サイン設置 - ベンチ設置	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計	- 土壁復元検討	- 土壁復元実施設計	- 土壁復元設置	- 土壁復元検討								
		- 金り石垣	- 免振調査 - 史料調査 - 保護工事	- 連棧保育工事 - サイン設置	- 連棧保育工事 - サイン設置 - ベンチ設置	- 連棧保育工事 - (土系保根、接 水路整備) 実施設計	- 土壁復元検討	- 土壁復元実施設計	- 土壁復元設置									
	内郭②ゾーン	- その他	- 免振調査															
		- 内郭丸		- サイン設置	- 危険木伐採 - ベンチ設置	- 史料調査	- 免振調査	- 石垣修復実施設計	- 石垣修復	- 石垣修復	- 土壁復元検討	- 土壁復元実施設計	- 土壁復元設置	- 東屋改修				
		- 銀閣		- サイン設置		- 史料調査	- 免振調査	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備工事	- 整備工事			
		- 萬中御門		- 石垣調査	- 危険木伐採	- サイン設置	- 免振調査	- 報告書作成	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備工事	- 整備工事			
		- 二の丸		- サイン設置		- 史料調査	- 免振調査	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備方法検討	- 整備工事	- 整備工事			
	内郭③ゾーン	- 高石垣廻廊		- 危険木伐採	- サイン設置	- 免振調査	- 報告書作成	- 石垣修復実施設計	- 石垣修復	- 石垣修復				- 土壁復元検討	- 土壁復元実施設計	- 土壁復元設置		
		- 構形		- サイン設置	- 史料調査	- 免振調査	- 報告書作成	- 石垣修復実施設計	- 石垣修復	- 石垣修復								
		- 小窓扇廻廊		- 連棧シート支設	- サイン設置	- 史料調査	- 詳細調査	- 移設方法検討	- 移設実施設計	- 移設工事								
		- 三の丸	- 追加指定手続	- 史料調査		- 詳細免振調査			- 整備基本設計	- 整備実施設計	- 整備工事							
		- 薩摩	- 追加指定手続	- 史料調査			- 危険木伐採	- 詳細免振調査	- 整備実施設計	- 整備基本設計	- 整備実施設計	- 整備工事						
史跡指定地外	内郭④ゾーン	- 出山	- 追加指定手続	- 史料調査				- 危険木伐採	- 詳細免振調査	- 整備実施設計	- 整備工事							
		- 鹿山(新丸)													- 史料調査	- 追加指定検討		
	調査等	全体	- 自然環境調査	- 树木調査	- 植生調査													
		その他	- 史料調査															
概算事業費(千円)		1,247,000	33,000	112,000	111,000	165,000	115,000		505,000					206,000				
うち市費(千円)		816,500	11,500	63,000	38,500	56,000	38,500		238,000					71,000				

## 第2節 完成予想図

史跡米子城跡整備の長期整備計画の全体的な整備イメージと特徴的な遺構である登り石垣及び豊堀の整備イメージを次に示す。

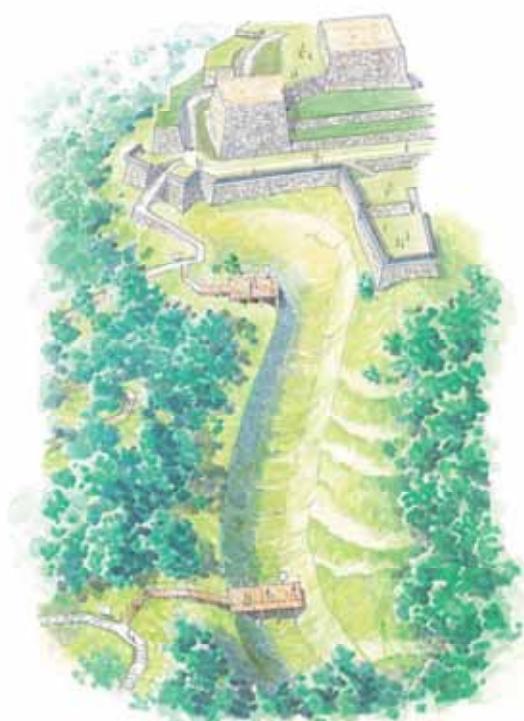




史跡米子城跡整備イメージ 3(本丸)



史跡米子城跡整備イメージ 4(登り石垣)



史跡米子城跡整備イメージ 5(豎堀)